

## ⑬ J Aながさき西海させぼ地区青年部の活動

### 1. 組織の概要

J Aながさき西海させぼ地区青年部は佐世保市で農業を営む中核農家124名をメンバーとする組織です。

「長崎県J Aグループ食農教育基本方針」をふまえ①日本型食生活を基本とする健全な食生活の実現②地産地消運動の展開による食料自給率の向上③生産者と消費者の交流による農業・農村の活性化を目的として、農業体験学習を柱とする食農教育活動に取り組んでいます。

活動にあたっては同J A女性部や佐世保市青年農業者連絡協議会と連携し、食農教育活動推進のための実行委員会を設立し、地域密着型の活動を行っています。

### 2. 取り組み内容

同青年部の代表的な取り組みである「ひろっ子ファーム」は、平成19年度から佐世保市立広田小学校と始めた食農教育活動。

遊休農地6・6アを開墾し農園をつくり、同校の児童にサツマイモ、ニンジン、ジャガイモ、大豆など多品目での栽培体験を提供。さらに品目は年度毎に変更を加え、多様な角度から作物の特徴を学べるようにしています。

また、児童が栽培体験をまとめた「壁新聞」のコンクールでは児童自らプレゼンテーションをすることで自主性、創造性を養っているほか、J A職員による授業での講話、味噌の加工体験なども行い、食農教育の効果が高まるよう工夫を重ねています。



### 3. 食農教育活動の効果

保護者から「家での食べ残しが減った」「子どもがスーパーに行くと、まずは農産物コーナーに足を運ぶようになった」などという感想もいただいています。

この一連の活動は平成21年度に開かれた全国のJ A青年部員が集まる「J A全国青年大会」で発表され、組織活動実績発表部門の日本一にあたる「千石興太郎賞」に輝き、させぼ地区青年部の活動活性化にもつながっています。